

6月の米国ハイ・イールド債券は続伸

ポイント



1. 6月の米国ハイ・イールド債券市場概況
2. デフォルト動向、および、利回りやスプレッドの推移
3. 今後の経済・市場見通し

1. 6月の米国ハイ・イールド債券市場概況

6月の米国ハイ・イールド債券は続伸

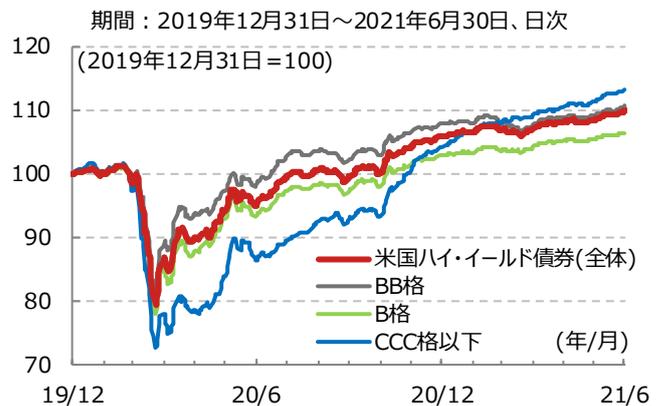
6月の米国ハイ・イールド債券市場は+1.36%と上昇し、利回りは3.87%に低下しました。米5年国債利回りは0.10%上昇して0.88%となり、対米5年国債スプレッドは0.39%縮小しました。

感染リスクが高い層へのワクチン接種が進んでいることがサポートになり、米国経済の再開は力強く進んでいます。ニューヨークなどの大都市でも行動規制が解除され、人々の消費活動が活発化しています。米国経済が引き続き力強く回復していることからCCC格以下の債券が引き続き市場をリードし、米国ハイ・イールド債券の全ての格付セグメントとセクターが上昇しました。

低格付けカテゴリーが引き続き好調

格付別の月間リターンは、CCC格以下+1.86%、B格+0.94%、BB格+1.38%となり、CCC格以下が特に堅調でした。セクター別月間リターンでは、エネルギー+2.66%、食品/飲料/タバコ+2.22%、エンターテインメント+1.73%が上位3業種で、レジャー+0.34%、放送+0.35%、ホテル+0.51%が下位3業種でした。

米国ハイ・イールド債券市場の動向



	リターン		利回り	
	6月	年初来	6月	前月比
米国ハイ・イールド債券指数(全体)	1.36%	3.70%	3.87%	-0.29%
格付け別				
BB格	1.38%	2.46%	3.11%	-0.22%
B格	0.94%	3.40%	4.23%	-0.26%
CCC格以下	1.86%	9.32%	6.42%	-0.51%
セクター別				
エネルギー	2.66%	10.20%		
食品/飲料/タバコ	2.22%	3.44%		
エンターテインメント	1.73%	29.76%		
ホテル	0.51%	1.77%		
放送	0.35%	1.27%		
レジャー	0.34%	4.20%		
米国債(5年)	-0.24%	-1.69%	0.88%	0.10%
米国債(10年)	1.50%	-4.10%	1.44%	-0.15%

時点：2021年6月末時点、米ドルベース
セクターについては、6月リターンの上位3業種と下位3業種をあげています。
使用している指数については、P4をご参照ください。
(出所) ICE、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

2. デフォルト動向、および、利回りやスプレッドの推移

デフォルト動向

6月末のデフォルト率（金額ベース）は1.63%となり、5月末の2.58%から低下、5月に続いて過去平均を下回っています（右上図）。

6月は米国ハイ・イールド債券市場でデフォルトが2件発生しました。ビジネス・トラベル関連企業と、インターネット通信関連企業です。5月はデフォルトがなく、「コロナ禍で苦しんできた業界にもトンネルの出口が見えてきた」としましたが、個人の旅行需要などと比べると、企業の出張需要であるビジネス・トラベルなどの回復はまだ弱いようです。

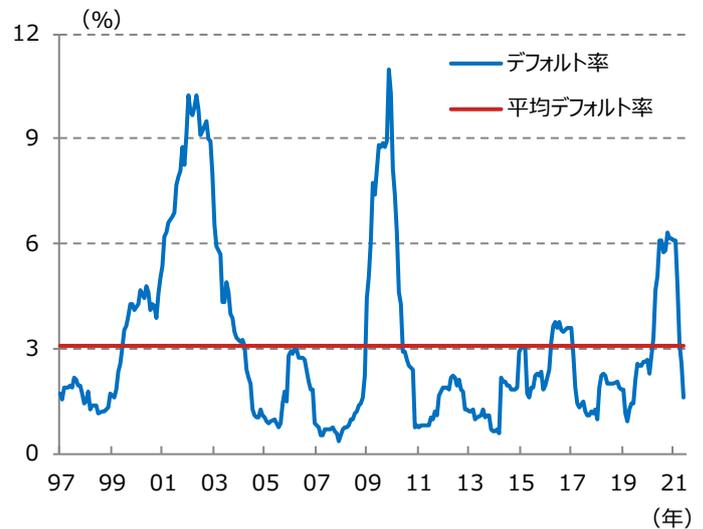
但し、全米で経済再開が進んでおり、回復時期の差は多少はあるものの、多くの産業で回復が期待できることから、今後12カ月の米国ハイ・イールド債券市場のデフォルト率は低水準で推移すると予想しています。

利回りやスプレッドの状況

6月末時点で、米国ハイ・イールド債券市場の利回りは3.87%と前月比で低下し、過去20年余りでの最低水準を更新しています。対5年国債スプレッドも2.99%と、2007年5月以来、久しぶりに節目の3%を割り込みました（右下図）。

米国企業の収益は順調に回復しており、上述の通り、デフォルト率も低下傾向にあります。また、FRB（米連邦準備制度理事会）の政策スタンスも引き続き緩和的な姿勢を維持していることから、米国ハイ・イールド債券市場にとっては望ましい環境が続くものと予想しています。

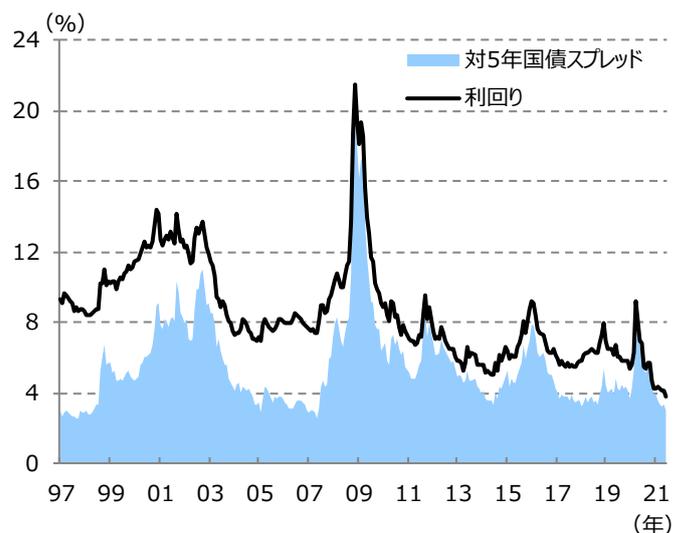
米国ハイ・イールド債券のデフォルト率の推移



期間：1997年1月末～2021年6月末、月次

※ 平均デフォルト率は、1997年1月末～2021年6月末の平均値
（出所）JPモルガンのデータを基に野村アセットマネジメント作成

米国ハイ・イールド債券の利回り、スプレッドの推移



期間：1997年1月末～2021年6月末、月次

※ スプレッドは米5年国債利回りとの差

使用している指数については、P4をご参照ください。

（出所）ICEのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

3. 今後の経済・市場見通し

米国の雇用は順調に回復

米国の雇用は緩やかながらも順調に回復しています。6月の米雇用統計によれば、非農業部門の民間雇用者数全体は2019年末水準の96%程度まで回復しました。特に、昨年前半に急減した「宿泊、飲食」や「芸術、娯楽、レクリエーション」関連の雇用が、ワクチン接種の進捗に沿うように今年に入って急回復を続けており、6月には2019年末に対して90%超まで回復しました（右上図）。一方、雇用回復が消費需要を急速に押し上げていることで、一部の財・サービスの価格を急速に押し上げており、6月の米CPI（消費者物価指数）は前年同月比+5.4%と高水準で、5月に比べても加速しました。但し、ガソリン価格やレンタカー料金、航空運賃など、前年の落ち込みからの反動の影響が多く、一時的な上昇と見られています。

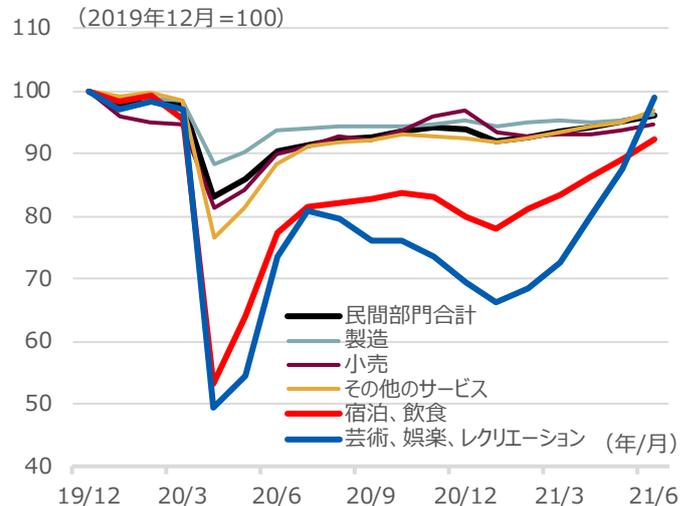
米国債券利回りが低下

6月15～16日に開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）では、「利上げ前倒し」観測が発表され、直後にはマーケットが動揺する局面もありました。しかし、その後の米国債券市場は利回りが頭打ちから低下気味であり、米国が金融引き締めに転じるまでには今しばらくの時間を要するとマーケットは判断したようです。

経済再開に伴う景気回復が企業業績を下支えしてデフォルトが抑制され、債券利回りが低位安定することで、当面の米国ハイ・イールド債券市場にとっては好環境が続くと思われます。但し、いつまでも安泰というわけではなく、長期的には、インフレの行方とFRBによる量的緩和が縮小に転ずるタイミングを、最大限に注視する必要があるでしょう。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

産業別に見た米国の雇用回復状況



期間：2019年12月～2021年6月、月次

（出所）米労働省(<https://www.bls.gov/web/empsit/ceseeb1b.htm>)のデータを基に野村アセットマネジメント作成

米国債券利回りの推移



期間：2019年12月31日～2021年7月13日、日次
米国債券利回りはブルームバーグ・ジェネリック

（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

<当資料で使用した指数について>

米国ハイ・イールド債券指数(全体) : ICE BofA U.S. High Yield Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(BB格) : ICE BofA U.S. High Yield BB Rated Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(B格) : ICE BofA U.S. High Yield B Rated Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(CCC格以下) : ICE BofA U.S. High Yield CCC and Lower Rated Constrained Index SM/®

米国ハイ・イールド債券指数(各セクター指数) : ICE BofA U.S. High Yield Index SM/®の各セクター指数

米国債券 : ICE BofA Current 5/10-Year US Treasury Index SM/®

<当資料で使用した指数の著作権等について>

- 「ICE BofA U.S. High Yield Constrained Index SM/®」は、米国ハイ・イールド債市場のパフォーマンスを表す代表的な指数です。
- 「ICE BofA U.S. High Yield BB Rated Constrained Index SM/®」、「ICE BofA U.S. High Yield B Rated Constrained Index SM/®」、「ICE BofA U.S. High Yield CCC and Lower Rated Constrained Index SM/®」は、「ICE BofA U.S. High Yield Constrained Index SM/®」のうち、それぞれ、BB格、B格、CCC格以下の社債を集合させた指数です。
- 「ICE BofA U.S. High Yield Index SM/®の各セクター指数」は、「ICE BofA U.S. High Yield Index SM/®」のうち、各セクターの社債を集合させた指数です。
- 「ICE BofA Current 5/10-Year US Treasury Index SM/®」は、米国5/10年国債のパフォーマンスを表す代表的な指数です。
- 当該指数はICE Data Indices, LLCまたはその関連会社の登録商標です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はICE BofAに帰属しております。

野村アセットマネジメントからのお知らせ

■ ご注意

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧ください。

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2021年7月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%（税込み）》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用（信託報酬） 《上限2.222%（税込み）》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 * 一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 * ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください、ご自身でご判断下さい。

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／
 一般社団法人日本投資顧問業協会／
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会